

多文化関係学会 2020年度 第1回理事会議事録

日時：2020年6月7日（日）13時半～15時

場所：オンライン開催（ZOOM）

出席者： 江藤由香里、岡部大祐、岡村郁子、出口朋美、田崎勝也、金本伊津子、河野康成、小坂貴志、武田礼子、田中真奈美、内藤伊都子、馬場智子、松井一美、湊邦生

（敬称略・50音順）：

欠席者： 畠中香織（委任状あり）宇治谷映子、小林浩明（敬称略・50音順）

議事次第

1. 報告事項

(1) 第19回年次大会準備委員会からの報告

小坂貴志大会準備委員長から、第19回年次大会のオンライン実施について報告がなされた。前回の理事会でオンラインでの年次大会を検討していくことを確認し、今回の理事会の時期に状況判断をする方向で進めてきた。会員に年次大会のオンライン開催についてアンケートを実施し、これまでに50名ほどの会員から回答を得た。得られた回答を見ると、年次大会の中止には多数が反対しており、オンライン開催に前向きな回答が多く確認された。また、会員のオンライン環境およびオンライン・ツールの使用経験の有無を鑑みると、オンライン開催は可能ではないかと考えられることが報告された。

オンラインでの年次開催を実施する場合には、基本的には研究発表のみを実施予定とする。一方で、参加者同士の意見交換が可能な場を設けることも案として考えている。実際にオンライン開催で決まるなら、今後、大会準備委員会で協議し、実際の運用をテストしていきたい。大会参加費については、他学会の事例も参照しながら協議を進めていく。

(2) 事務局からの報告

田中真奈美事務局長からは、学会員の状況について、以下2点の報告がなされた。

(a) 総会員数は303名（正会員235名、シニア会員4名、学生会員64名）となっている。未納の会員については順次対応中である。(b) 現在会員名簿を精査しており、3年間未納だった会員は除籍の処理をしている。今回、抜け漏れがあり、すでに4年以上未納が続いている会員が確認されたため、除籍処理を行う。

(3) 2020 年度活動計画について（各委員会委員長）

財務委員会（松井一美）

審議部分を参照。

学術委員会（岡部大祐）

今年度活動の見通しについて報告がなされた。委員の間で協議しつつも、年次大会の開催方針を待って活動内容を決定するとしていた。オンラインでの年次大会開催では研究発表のみになるとのことであるため、2018 年度より継続の学会創設 20 周年記念事業については、実施の有無と形態を含めて継続協議していく。

編集委員会（金本伊津子）

学会誌への投稿状況の報告がなされた。合計で 14 本の投稿があり、例年並みと言える（論文 9 本、研究ノート 5 本）。現在、編集委員会より査読者に依頼中である。

ニューズレター委員会（内藤伊都子）

ニューズレター 76 号の発行が完了したことの報告がなされた。次号は 2 月頃、年次大会についても掲載できるように進めていく。

選挙管理委員会（小坂貴志）

今年度が選挙の年となるため、適任者の推薦をお願いしたいとの依頼がなされた。

地区研究会より報告

北海道・東北地区研究委員会（馬場智子）

新型コロナウイルスの影響で、外出・移動を許可しない大学もあり、研究会活動は現状行われていないことが報告された。

関東地区研究会（武田礼子）

昨年度の 3 月、地区研究会委員で話し合いをした時点での報告がなされた。年 2 回行われる地区研究会のうち、第 1 回は（今回の）理事会に合わせて計画されていた。しかし、新型コロナウイルスの影響から、第 1 回研究会はこのまま見送りになりそうな見込みである。第 2 回（1 月中旬から下旬を検討している。大学後期が終わる前あたりで、入試時期に入る前が望ましい）は、武田委員長による研究会（発表）実施を検討中である。

中部・関西地区（宇治谷映子）

委員長欠席のため報告なし。

中国・四国地区（江藤由香里）

第1回地区研究会が3月8日に予定されていたものの、新型コロナウイルスの影響で開催が延期となった。依頼している講師からは、できる状況になれば対応していただけないことなので、様子を見て開催を予定している。

九州地区（小林浩明）

委員長欠席のため報告なし。

(4) 学会誌編集委員会からの報告

→上記参照。

(5) 多文化関係学会WGについて

田中真奈美事務局長から報告がなされた。2020年4月18日午後にミーティングを実施した。継続調査・審議中。近日もミーティングを実施予定であり、次回理事会で報告可能であるとする。

(6) その他

なし

2. 審議事項

(1) 2020年度予算について

2020年度予算案について理事による審議がされ、承認された。決算手続きの時期についても確認され、理事会で承認がされた（通常は臨時総会にて予算案の審議をしているが、2019年度第3回理事会にて、臨時総会に代え、理事会にて予算案の審議が可能になった。）

決算報告は、例年は年次大会での総会で会員に報告する形となっているため、オンラインでの年次大会となった場合には、決算報告の形についても引き続き協議していく。

*** 予算案をご覧になりたい方は、事務局までお問い合わせください。**

(2) 2020年度大会について

今年度の年次大会をオンライン形式での実施とすることが審議され、承認された。年次大会の実施形式については、秋に年次大会を行う学会は通知を開始しているところがあるため、本学会も早めに会員に周知していくことが確認された。

(3) 2021 年度大会について

来年度に新型コロナウイルスの状況が鎮静化しているという保証はない。学会 WG にて継続協議とする。

(4) 2020 年度総会について

オンラインでの年次大会となり、どのように総会を実施するか検討する必要がある。総会の内容を文書化して会員に配布することも可能ではある。他学会ではオンラインで総会を実施していた事例もある。事務局と大会準備委員会とで協議していく。年次大会のウェブサイトを活用するなど、方法を探る。

(5) その他

なし

***2020 年度第 2 回理事会 (ZOOM ミーティングを予定)**

日時： 2020 年 8 月 2 日 (日) 13:30～

第 2 回理事会を上記日程に決定し、14:38 に閉会した。

以上